

## 週報①

### 広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2020年												2021年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月 ~7日	3月 ~14日	3月 ~21日	3月 ~28日	4月 ~4日	4月 ~11日	4月 ~18日	4月 ~25日	5月 ~2日	5月 ~9日
カンピロバクター	42	46	55	54	92	177	241	189	97	132	148	125	114	65	29	29	38	41	42	21	21	30	19 (22)	23
病原性大腸菌	22	34	39	30	24	63	60	76	52	42	41	52	39	25	8	10	19	15	15	4	17	25	14 (16)	7
腸管出血性大腸菌	1	0	0	0	1	4	0	2	1	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	4	1	2	4	10	7	14	29	16	10	10	3	6	5	1	0	1	1	1	0	0	0	1	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	6	20	11	3	9	15	15	20	13	17	18	12	14	16	6	9	11	7	8	3	5	3	3	7
黄色ブドウ球菌 MRSA	10	11	17	8	14	14	11	17	9	10	11	9	10	10	2	6	4	3	5	5	6	9	6 (9)	7
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	1	1	0	0	7	0	0	0	0	2	0	0	0	1	1	0	1	1	2	0
ロタウイルス	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	10	14	6	1	0	0	0	2	0	0	0	1	4	5	1	3	1	1	4	3	3	1	3	3

\* ( )は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

## 週報②

### 広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和3年第18週(5月3日~5月9日)

#### 2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	7	結核	7	1		1		3	1	1
三類	0	発生なし	0							
四類	0	発生なし	0							
五類	4	アメーバ赤痢	1			1				
		日本紅斑熱	1			1				
		バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1					1		
		梅毒	2			1		1		
新型コロナウイルス感染症	909	新型コロナウイルス感染症	909	91	49	62	21	568	33	85

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町  
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

新型コロナウイルス感染症

第18週の新規感染者数は、568件(前週の約1.9倍)の報告があり、4月以降、報告数が急増しています。

5月7日に開催された広島県対策本部員会議において、広島県の感染状況は、初めてステージⅢに引き上げられ、「新型コロナウイルス感染拡大防止集中対策」が決定されました。

誰でも感染するという意識を持ち、外出機会の削減、マスク着用、手洗いや手指消毒、人との距離の確保、こまめな換気などの対策を徹底しましょう。また、発熱、咳などの症状があるときは、仕事や学校を休み、軽い症状であっても医療機関を受診しましょう。

「新型コロナウイルス感染拡大防止集中対策」についての詳細は、下記ホームページからご確認ください。  
 ・広島県ホームページ「[R3.5.8-6.1]新型コロナ感染拡大防止集中対策【R3.5.7会見】」  
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/2019-ncov/stop-infection-202105.html>

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注) 過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注) 過去5年間	発生記号	増減									
												急増減	増減								
フィレン	インフルエンザ	-	-	0.42		小児科	流行性耳下腺炎	1	0.04	0.21		急増減	前週と比較しておおむね1:2以上の増減								
小児科	咽頭結膜熱	8	0.33	0.36		眼科	RSウイルス感染症	3	0.13	0.24		増減	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減								
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	0.21	1.30			急性出血性結膜炎	-	-	-		微増減	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減								
	感染性胃腸炎	110	4.58	3.29		流行性角結膜炎	5	0.63	0.78		横ばい	ほとんど増減なし									
	水痘	5	0.21	0.27		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	0.03		報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。	<table border="1"> <tr> <td>インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>小児科定点数</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>眼科定点数</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>基幹定点数</td> <td>7</td> </tr> </table>	インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37	小児科定点数	24	眼科定点数	8	基幹定点数	7
	インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37																			
	小児科定点数	24																			
	眼科定点数	8																			
	基幹定点数	7																			
手足口病	1	0.04	0.90		無菌性髄膜炎	-	-	0.03													
伝染性紅斑	-	-	0.23		マイコプラズマ肺炎	-	-	-													
突発性発しん	7	0.29	0.12		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-													
ヘルパンギーナ	-	-	0.11		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	1.68													

今週(第18週)は、ゴールデンウィークの休診の影響で、報告数が少なくなっている可能性があり、前週(第17週)と適正な比較ができないことから、発生記号は表示していません。

■ 全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	43	30歳代・推定感染地域: 国外、60歳代、80歳代
5	梅毒	1	17	40歳代
5	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	4	70歳代